

令和5年度

# 堀江北小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着を図り、児童自ら粘り強く考え、主体的に表現するための手立てと評価の工夫
- 学校と家庭との連携による生活・学習習慣の確立

## 学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員** 中野 克哉
- 委員** 校長 板東郁美 教頭 大塚真由美 研修主任 高橋洋子  
 教務主任 中野克哉 1年 森友子 2年 寺本紗希 3年 中妻和哉  
 4年 高橋洋子 5年 横山大晟 6年 横瀬恵理子  
 養護教諭 井片愛 特支 黒木爽子 屋敷平郁未 前原台五

校長

板東 郁美

## ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

保護者・児童・教職員によるアンケートや児童の学習達成状況等により、取組状況の把握を行う。

### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習や授業中の与えられた課題には、まじめに取り組める児童が多く、基礎・基本的な力も少しずつ身につけてきている。 ●国語、算数ともに、学年が上がるにつれて個人差が大きくなり、個別指導の必要な児童の割合が高くなる。	・自分の目標を明確にして、各学年の言語や数量や図形に関する基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けることができる。 ・漢字や計算など既習の知識を他の学習や生活の場面において生かすことができる。	・漢字や計算のチェックテストなどを行いながら、自分の目標を明確にして基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。個別指導が必要な児童に対しては、ステップアップタイムを利用し、補充学習をする。 ・既習の学習がその後の学習に生かせるよう、学習中のノート指導や読み取り指導を丁寧に行う。			

### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○スクールワイドPBSでの「聞き方名人」の取組により、意欲的に話を聞こうとしたり、発表したりしようとする児童が多い。 ●内容を読み取り、筋道を立てて考えたり、目的に応じて書いたり話したりすることが苦手な児童が多い。	・友達の意見をよく聞き、自分の考えをしっかりと、根拠や理由を明らかにしながら自分の考えを豊かに表現することができる。 ・各授業における課題に対して、自分の考えをもち、話し合い活動等を通して深め、表現することができる。	・各教科において自分の考えを深めるため、ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。 ・様々な授業において、根拠を明らかにして自分の考えを話したり、自分の考えや学習のまとめ等を書いたりする活動を積極的に取り入れる。 ・ホワイトボードやICTを積極的に活用させる。			

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習(宿題)をきちんと提出する習慣が定着している児童が多い。週末読書をする児童が増えてきている。 ●自主学習等で得意な学習内容に対して自ら課題を見つけて、解決方法を考えて根気よく取り組む活動が苦手な児童や、自主勉強に向かう習慣が身につけていない児童が多い。	・家庭学習や自主学習、苦手な課題についても自信をもって取り組み、学ぶ楽しさや喜びを感じ、進んで学習することができる。 ・土・日の休日、家庭で読書をする習慣を身に付けることができる。 ・朝の読書や隙間読書等で読書の楽しさを感じ、意欲的に読書に取り組む。	・「家庭学習の手引き」をもとに自主学習を習慣化するとともに、個に応じた学習内容を助言する。 ・自分の目標を明確にし、自主勉強の方法を具体的に示したり、よい自主勉強の例を紹介したりする。 ・「読書カード」を作成したり、読み聞かせや週末の斉図書貸し出し等をしてしるすことにより読書への興味・関心を高め、読書時間を増やす。			

## 令和5年度 学力向上ロードマップ



